

彦根市教育委員会会議録

| | | | |
|----------------------|--|----------------------|----------------------------|
| 会議の日 | 令和7年1月23日(木) | | |
| 会議場所 | 彦根市役所本庁舎5-1会議室、5-2会議室 | | |
| 出席委員等 5人中 4人出席 | 教育長 教育長職務代理者 委員 | 西嶋 良年 欠席 本田 啓子 | 委員 委員 小松 照明 田附 孝子 |
| 出席職員 (説明員) | 教育部長 小島 久喜 教育部次長(教育総務課長) 清水 智子 子ども未来部次長(幼児課長) 前川 昌敏 副参事(博物館副館長、学芸史料課長) 渡辺 恒一 学校教育課長 東野 了賢 学校教育課主幹 井上 崇子 学校ICT推進課長 北川 尚樹 学校支援・人権・いじめ対策課長 小磯 浩司 生涯学習課長 小椋 朋子 生涯学習課主幹 川添 義夫 博物館管理課長 林 善和 教育研究所長 清水 貴博 学校給食センター所長 今井 和宏 図書館長 田中 淑介 図書館主幹 谷村 雅史 新図書館整備推進室長 鈴木 康浩 広野教育集会所長 中江 淳展 | | |
| 会議次第 | 1 開 会 午後1時30分 2 議 題 内 容 別添のとおり 議案第1号 彦根市立学校予算の執行規程の一部改正について (教育総務課) 議案第2号 彦根市立小中学校事務の共同実施に関する規程の制定について (学校教育課) 議案第3号 滋賀県彦根市立学校の管理運営に関する規則の一部改正について (学校教育課) 議案第4号 彦根市社会教育委員および彦根市公民館運営審議会委員の委嘱について (生涯学習課) 3 その他 内 容 別添のとおり 4 閉 会 午後2時00分 | | |

1 開 会

教育長 ただ今から教育委員会会議を開会します。

本日提案している議題は4件です。

本日の議事の進行につきましては、「教育長報告」のあと、議案第1号から議案第4号の審議をいただきます。その後、「次第4 各所属の取組事項について」の質疑を行い、「次第5 その他」で教育委員会の所管事項について、委員からのご質問をいただきます。

本日の議事進行につきまして、ご異議はありませんか。

各委員 なし。

教育長 それでは、私から「教育長報告」をさせていただきます。

12月24日火曜日、舟橋聖一文学賞および舟橋聖一顕彰青年文学賞授賞式を本庁で行い、教育委員の皆様と出席をしました。

12月27日金曜日、12月市議会臨時会が開催されましたので、自席にて傍聴をしました。

1月6日月曜日、1月定例校長会議を本庁にてWeb会議方式で実施し、出席をしました。

1月7日火曜日、この日から17日までの6日間、教職員人事ヒアリングを本庁で行いました。

1月11日土曜日、彦根市消防出初式がひこね市文化プラザで開催されましたので、出席をしました。

1月12日日曜日、彦根市二十歳のつどいをひこね市文化プラザで開催し、出席をしました。

1月18日土曜日、彦根市青少年健全育成フォーラムがひこね市文化プラザで開催されましたので、出席をしました。

1月23日木曜日、教育委員学校訪問を午前中に行い、稲枝東小学校、稲枝北小学校を訪問し、視察をしました。午後からは、1月教育委員会会議となっています。

報告は以上です。何かご質問やご意見がありましたらお願いします。

各委員 なし。

2 前回会議録の承認

3 議題

議案第1号 彦根市立学校予算の執行規程の一部改正について

教育総務課長から説明がありました。

議案第 1 号は原案のとおり承認されました。

議案第 2 号 彦根市立小中学校事務の共同実施に関する規程の制定について

学校教育課長から説明がありました。

小松委員 この事務の共同化というのは、県内の別の市でもされていると以前説明を聞いているのですが、ここにある細かな規程というのは、どこの市でも大体同じ内容でしょうか。別に彦根市が独自に規定している内容はありますか。

学校教育課長 県内の先行実施自治体に確認しましたところ、ほぼ同じ内容になっています。これは、学校事務職員が行う内容について、全国標準的な項目が示されています。従って、本市独自の取組み、独自の業務内容の追加は今のところ予定していません。

議案第 2 号は原案のとおり承認されました。

議案第 3 号 滋賀県彦根市立学校の管理運営に関する規則の一部改正について

学校教育課長から説明がありました。

議案第 3 号は原案のとおり承認されました。

議案第 4 号 彦根市社会教育委員および彦根市公民館運営審議会委員の委嘱について

生涯学習課主幹から説明がありました。

議案第 4 号は原案のとおり承認されました。

4 各所属の取組事項について

田附委員 学校 ICT 推進課に伺いますが、小学校ドローンプログラミング授業は、どなたが指導されたのか教えていただきたいです。

学校 ICT 推進課長 各校に ICT 支援員が巡回していますので、その支援員を中心に、2 時間ぐらいで授業の展開をしてもらっています。総合的な学習で学んだ防災教育の発展として、ドローン使って物資を届けるというようなプログラムになっています。

本田委員 感想になりますが、この間「彦根市二十歳のつどい」に参加しました。ずっと「彦根市二十歳の集い」に参加していますが、年々、実行委員会が企画することが浸透して、子ども

もたち自身が TPO を考えた行動をとることができて、少しおとなしめだったかなと思うくらい、厳かな式でした。すごくよかったですと思います。感想です。

小松委員 学校 ICT 推進課と彦根城博物館に質問します。1 点目の学校 ICT 推進課の静岡県藤枝市行政視察についてです。視察に来られているのが結構多く、その都度アクティブラーニング教室を紹介されているみたいです。今日の学校訪問で行った稲枝東小学校、稲枝北小学校でもアクティブラーニング教室が活用されていて、実際よくやっているなと思いました。この視察の時にどこの学校を選ぶかどうかは、相手からの要求に合わせて選んでいるのでしょうか。今回、旭森小学校ではこういう特色があったから視察の現場として選んだのか、視察時にどこの学校を選ぶか、その辺の考え方があるなら教えて欲しいです。

それと、彦根城博物館で開館 38 周年記念日イベントの開催とありますが、これ毎年やられています。当日の観覧者に記念品を贈呈、くじ引きとなっていますが、それ以外に何か変わった催しや行事を行うのでしょうか。また、今後 40 周年となった時に、盛大にいろいろなことを考えているなら、内容について教えて欲しいです。

学校 ICT 推進課長 視察先の選定の理由として、一番は子どもが生き活きと活動している場面を提供したいという思いがあります。ところが、時期によってそれぞれの学校で取り組んでいる内容が違いますので、いくつかの学校に打診しています。結構な割合で「ぜひうちを見に来て欲しい。」と言われるケースが多いので、そうした学校とのやりとりの中で選定をしています。ここまで延べ 10 回程度視察を受けているわけですが、重複しないようにということだけは考慮していますが、基本的には、その時期に盛り上がってる活動、子どもの生の姿を見ていただけるような学校を選定しているところです。

彦根城博物館管理課長 開館 38 周年記念日特別イベントですが、こちらは、当日博物館に入館された方で、展示室を観覧された方の観覧券、また無料観覧券等をお持ちの方に、抽選箱でくじ引きをしていただいて、記念品をお渡しします。例えば、彦根屏風のミニチュアとかトートバック、ひこにゃんグッズなどで、記念品の数としては 400 個用意して、皆様にお渡しする形になっています。そこにメッセージカードとして、来館いただいたこと、38 周年を迎えさせていただいたことのお礼等を書いて、一緒にお渡しすることが、この開館記念日でのイベントの内容になります。今後、40 周年が近づいていますが、彦根市の財政難ということもありますので、まだ細かいところまでは考えていませんが、ちょうど世界遺産登録もその近辺になりますので、世界遺産登録が決定するような時には、能舞台を利用した狂言や能が開

催できればよいかなど、博物館では考えているところです。

田附委員 学校支援・人権・いじめ対策課にお聞きします。「1人1台端末を利用した『心の健康観察』の導入に向けた調査研究事業」ということで、モデル校で実施されたと思いますが、どういう状況だったか、効果的な活用ができたのか、お聞きします。

学校支援・人権・いじめ対策課長 モデル校については、稲枝中学校と稲枝西小学校の2校で実施をしているところです。学校の状況にもよりますので、小学校と中学校の両方で揃えてということはありません。当初は毎日の実施にしていたのですが、やはり先生の負担も大きいというのが学校の中で少し話題になりまして、子どもの実態等も踏まえた形で、例えば当初は月曜日にしていたところを週の真ん中の水曜日にしようかと工夫をされたり、当初は朝の調子を問うものを基準にしていたのですが、後で先生にゆっくり見てもらいやすいということで帰りの会にされたという工夫もされるなど、状況に合わせて、試行錯誤を繰り返しているというところです。当課からは、例えば、調子が悪いという日が続くようなことがあったら一定のアラート表示が出る工夫をしたエクセルデータを提供しています。現段階ではそれを使いながら、アラートが出てきた子どもについて、担任ができるだけその日中に声をかけて、場合によっては担任以外の教員が話を聞いたり、スクールカウンセラーに繋ぐという形になっています。現段階では項目によってはアラートが出たりする子どもがいますが、スクールカウンセラーに繋いでいるケースはあまりないと聞いています。本事業の児童生徒のアンケート結果からは、自分の振り返りに繋がったとか、聞いてもらえてよかったというような声も聞いています。ただ、それをすることによって、子どもたちが先生のアプローチを待っているという雰囲気も一方ではありますので、そこはデメリットかなと考えているところです。来年度以降、週に何回するかも含めて、どういう形ですべての小中学校に広げていくのか、まだ議論が必要かなと思います。2月に3回目の事業運営協議会を予定していますので、そこまでの間に進めたことをもう一度検証して、次年度に向けて一定の方向性を出していきたいと考えているところです。

5 その他

各委員 なし。

教育長 以上で本日の会議を閉会します。

2月の会議は、2月20日木曜日、午後1時30分から本庁舎5階5-1、5-2会議室で開催します。皆さんお疲れ様でした。